

## スポーツのフェアプレイ

古舞小学校 5年 黒田 竜 司

ぼくは、スポーツについて1番大切なことは、正しくルールを守り、ともに、フェアプレイの精神で、たたかうことだと思う。ぼくは、フェア・プレイを見ていると、けんかをした後でも、胸がすっきりして、すぐあやまることができる。だからフェア・プレイはすばらしいと思う。

また、フェア・プレイでスポーツを楽しむと、きけんでない。安全で美しいスポーツになる。野球選手が試合で負けても、さわやかにしていただけるのは、フェア・プレイの精神でたたかったからだ。フェア・プレイの精神でたたかったからこそ、さわやかに笑顔を見せられるのだと思う。その時その時の気持ちは、ただ、相手のチームをにくんでいるのではなく、今度は、負けた時のおかえしをしてやるために、がんばろう、と思いこんでいるにちがいないとぼくは思う。

スポーツのフェア・プレイは、人に美しい公正さを与えるすばらしいものだと思う。

## 水 泳

幕別小学校 6年 笹原 智 恵

今まで、ずっと水泳をやっていて、本当によかったと思う。苦しかったり、つらかったりしたことがあった。けれど、楽しかったことが、一番多かったと思う。

私が、担任の先生に勧められて、水泳少年団に入ったのが二年生の時だった。初めのうちは、25メートルも泳げなかったのに、がんばって練習をしているうちに泳げるようになった。その時のことは、今でもはっきりと覚えている。ついた瞬間、25メートルを泳げたことで、胸がいっぱいだった。3年生になって、初めて全道大会というものに出場した。この全道大会での経験を生かし、全町、全十勝大会もがんばった。4年生になってから、温水プールで練習している帯広の、スイミングクラブと一緒に練習したこともあった。5年生になってからは、幕別スイミングスクールが結成され、私もスクールの一員となった。スクールのあい言葉、

「より長く、より速く泳げ、それがどんなきびしいことにも打ち勝つ努力家をつくるのだから。!!」を、目標に練習してきたため、十勝大会で女子200メートルリレーが優勝したり、スクールの人達がよい成績をとったりした。私自身、全十勝大会で、優勝、全道大会でも、ベスト4に、入れたことがあった。6年生になった今も温水プールに毎日通って、一生懸命、練習にはげんでいる。そして今年も、十勝大会で女子200メートルリレーが優勝し、2年連続優勝となった。8月上旬に、札幌で全道大会が行われた。成績はまあまあだったが、とてもよい勉強になったと思う。

このように、全道大会まで出場出来るようになったのは、今まで、水泳をおしえて下さった、先生、コーチ、そしてお父さん お母さん達のおかげだと思っている。このような方々のためにも、できる

なら、これから先、ずっと水泳を続けていきたい。

## 南幕別ソフトボール大会

相川小学校 6年 寺山 美智恵

私は、夏休みに、南幕別ソフトボール大会に出ました。韮内小学校に着いて、キャッチボールなどをしてから一番初めに韮内Aと試合をしましたが、せっせんでやっとなりました。

第2試合はとべつとの試合でした。その時、私は、初めて出ました。いつでたかという、とべつのチームが10人でやっていたので、しんぱんの人や先生があつまって話し合っただけで先生がもどってきて「今から10人でやればいいそうだ。そうしたら美智恵も出る。」と言った時私は、「ドキン。」とむねがなったのを感じました。

こうして、試合はつぎつぎ勝ち進んでいきました。でも私は、あんまり出ていないので決勝戦にだけしてもらえました。そして優勝しました。学校に帰ってからPTAの方たちが、しくしょう会してくれました。その日は、うれしい日でした。最後に、これからもスポーツにがんばっていきたくもいます。

## 私とスポーツ

相川小学校 6年 相沢 真弓

スポーツ。それは、体だけでなく心までも強くきえてくれる大切な存在である。私は、1年生の時、その場から、すぐにでもにげだしたいほど、大会にでるのが恐ろしかった。「やらなくては、いやでも、ここまで来てにげることは、ゆるされないのだ。」と、こんなことをむりやり頭につめこみ、いやいや競技へと進んだころがあった。

だが、こんなことを何年か続けてきたおかげで、初めて今、走る楽しさ、勝つ喜びなどを強くスポーツから学ぶことができたのだ。私は、この世にスポーツというものが存在していたことに、深く感謝している。もしも、この世界にスポーツというものが、現われなかったら、きっと私は、おもいきり走ってあせを流すことも、試合に勝って喜ぶことも何も知らずに、ただ、生きていただろう。

私にとって、スポーツとは、いったいなんなのだろうか。きっと、はなすことのできない肉親ほどの大切なものなのではないだろうか。私は、スポーツというものを、心の底から愛している。だからこそ、あのスポーツをする時の、何とっていいか、わからないようなスキッとした気持ち、勝負をする時の、複雑にゆれ動く心などを、この世界で生きる人々すべてに、知ってもらいたい。そして、心の底から、スポーツというすばらしいものを愛してもらいたい。

## メダルの思い出

糠内小学校 6年 下田 智 善

ぼくは、幕別町体育連盟主催の行事に何回か参加し、メダルを四つ持っている。一番最初のメダルは、マラソン大会幕別町開基80周年記念銅メダル。記録は平凡だったが、一番思い出がある。二つめは、第8回スケート大会での準優勝。この時ぼくは、予選3位、決勝同タイム1位で、逆点2位となって、スケート大会初めての銀メダル。とてもうれしかった。三つめ、幕別町開町記念陸上競技選手権大会、走高跳での金メダル。大会記録とタイの1m22cm。おしくも新記録は逃したが、自己2番目の記録。四つめ、第9回スケート大会での、銅メダル。予選7位で半分あきらめていたが決勝3位で、奇跡の3位。表彰台に上がった時、実感がわかなかった。ぼくは、二度とは取れないメダルを大切にしたいと思いますし、これからの大会も長く続けていって、ほしいと思います。

## スポーツ少年団に入って

札内南小学校 6年 高 場 敏 光

ぼくは、3年生になった時に、水泳少年団に入りました。そのころは、25メートル泳ぐのがやっとでした。しかし、3年がんばって500メートルは泳げるようになりました。ぼくは、小さいころから、体が弱かったのですが、今では、かぜをひくこともめずらしいほど、じょうぶになりました。これは、水泳少年団に入り、水泳を続けたからだと思います。

水泳を3年間も続けることは、とても大変なことでした。その間に、何度もやめたいと思ったこともありましたが、今は、やっぱり水泳を続けていて、とてもよかったと思います。今では、泳ぐことが非常に楽しくて、一週間に一度の水泳の日には、かかさないで通っています。こんどは、1000メートルを泳ぎたいと思います。

## ぼくと野球

白人小学校 6年 下 田 康 夫

ぼくは、野球が好きで4年生からはじめました。初めから、ボールをにぎらせてくれると思った。しかし、体そうばかり何日も何日もやらされた。とうとう、ボールを使って練習を始めるようになりました。ぼくたちは、おもにキャッチボール、トスバッティング、フリーバッティング、球拾いなどをした。学年が上がるにつれて、練習量が多くなってきた。したがって、練習からの帰りも7時を過ぎることが、たびたびあった。

とくに苦しかったことは、真夏の太陽のきらきら光るあつい日のピッチング練習だった。ぼくは、

あまりコントロールが良くないので、毎朝、父にキャッチャーをしてもらい、60球から70球の投球練習をずっと続けてきたので、今年は、去年の5年生当時とくらべて、スピードがかなりつたと自信を持っている。

今年の東部大会がついに来た。相手チームは、池田ポニーズだ。ぼくたちは、力を出しきれずに、みじめな負けかたをした。敗戦のくやしさを、これほど強くいつまでも感じたことはなかった。

精しん面の弱さが、勝負を決めたと思う。

## 野 球

幕別小学校 6年 堂 前 哲 史

3月中ごろ、ぼくたちは小学校の体育館で練習を始めました。

ぼくたちは一日一時間ぐらいの練習をやりました。初めの2、3日は足がいたくて歩けないほどでしたが日がたつにつれていたみもなくなってきました。

ぼくたちは野球の基本であるキャッチボールの心がまえをこの練習で知りました。ほかにも球がどこかへ飛んできたら野手はどのようにするかなど、いろいろと知り、ぼくたちは早く夏になってそれを実行したいと思いながら練習をしていきました。

いつの間にか夏がおとずれようとしていました。ぼくたちは7月14、15日にある東部十勝予選大会のためにいろいろな練習を試みたり練習試合を幕別ジャイアンツ、音更少年団、柳町少年団、浦幌ベアーズ、南幕別バッファロー、大樹少年団、本別少年団、大津サーモンズ、池田ポニーズ、東帯広少年団、大正少年団、西帯広少年団などと戦い成績は、8勝4敗2引分けという成績で、東部十勝予選大会にのぞみました。

7月14日ぼくたちは幕別ジャイアンツとあたり、ぼくはこの試合でジャイアンツをノーヒットノーランという記録を作りました。この記録はぼくにとってすごく思い出になりました。

15日今日は準決勝と決勝がありました。準決勝は、厚内サモンズとやりました。この試合はいがいて苦せんして4回まで1対0で負けていました。でも、最終回に2点を取りぎゃく点勝ちしました。ぼくはこの時試合を最後まで捨てはいけないものだと思います。ついに決勝までできました。でもこの試合は負けてしまいました。そしてぼくたちは準優勝でした。この時ぼくは負けたしゅんかんにはなにがなんだかわかりませんでした。

でも今思い出すとぼくたちは負けたんだとつくづく感じました。

この思い出は小学校生活の中で一番の思い出になりました。

## 野 球 に つ い て

駒島小学校 6年 高 島 学

・ ぼくが、初めて野球を知り、やり始めたのは4才か5才の時だった。

そして、そのおさない時もいつかは野球をやりたいと思っていた。

今までは、野球ではなく、ソフトボールを、おもにやってきたが、5年生になり、初めて野球ができた。ぼくにとってこれ以上の満足はない。

しかも、1年目にしてレギュラーになれた。これも練習のおかげだと、ぼくは思う。

しかし、野球というものは、それだけのものではないと、ぼくは思う。友だちをつくり、一生けんめい練習して、汗を流し、その友だちと、よろこびあうのも野球だと思う。

しかし、そのようなことをやりながら、野球をやってきただろうか。今までの事をふり返って思い出してみると、どのような事があったか頭の中にかきこぼる。

昔、大きい人と一緒にまじってやらせてもらっていたが、楽しいものだった。それと、ぼくは、くやしがりやのせいか、一度アウトになってもなかなか認めず、おこってやめてしまったこともある。しかし今考えると、あのころは、とって野球キチだと思った。

・ まあ、あのころで、ぼくほど野球キチはぼくぐらいだろうと自信をもっていえる。そのわりに、うでは上達しないが、とても野球が好きな気持ちだけは、だれにもまけない。

そして、「いつかはぼくも野球を。」「いつかはぼくも野球を。」と思い、とうとう念願がかないぼくは、とてもうれしい気持ちだ。

そしてぼくの考えどうりの野球ができた。最高な野球が出来たと心から思っている。それに、野球をやっている、いい友だちが出来たのは、ぼくの最高の思い出としてのころだろう。そして、町内少年野球大会で優勝した。その時のよろこびは、まだわすれていない。そして大会の表しよう式の時はきん張した。その時、おぼさんがみていたというが、あまりよくおぼえていない。トロフィーをもらった時、なんだか胸のモヤモヤがふきとんだ。

そして、今年に入った。

ぼくは、初めのころは調子がよかったが、あとでぼくはスランプにおちこんだ。ぼくはなんとか調子をとりもどそうと必死に練習したが、スランプは、はなれなかった。しかしそのスランプも、どうにか大会が始まったころになくなった。

しかし、予選も一回戦でまけてしまった。あのときのくやしきは今もわすれていない。けれども、まだぼくたち6年生は、新人戦は無理として、6年生大会があるので今日まで練習してきた。

ぼくは、この最後の大会を、くいものこらぬようがんばりたいと思う。

この気持ちは、ぼくのほかにいしるし6年生と同じ気持ちだと思う。

## バレーボール少年団に入って

白人小学校 6年 中 川 奈津子

「やってみようか。」こんな気持ちで私が札内バレーボール少年団に入ったのは今年の4月だった。それまでは、少年団に入っていなかったの、何かに入りたかった。中でも、バレーボールが一番やりたくて自分にむいていると思ったので入団したのである。

入ってみると、「やはり、去年から入れば良かったなあ。」と思った。入団してから今日まで、バレーボールが面白くないと思ったことはまるでない。毎週毎週、火曜日と土曜日がとても待ち遠しい。私の入団した時は、他にも大勢入団した。6年生も結構多かった。去年からのメンバーの人たちもいた。それぞれ、相当な練習をしているようだ。私は、少しでも油断するとすぐにB軍に、いや、それ以下になってしまうかもしれないから、がんばらなくてはならないと思った。

さて、バレーボール少年団に入って良かったこと、それは、バレーが以前よりも上手になったこと、他のバレーチームの人たちと親しくなれること、学校の外でも友だちと会えることなど、いろいろなことがある。いやなことはほとんどなしである。これからは、もっと細かいルールも覚えて、みんなに迷わくをかけないように、チームワークをしっかりと守りがんばっていこうと思う。

## 陸上競技に参加して

糠内中学校 2年 飯 塚 実千代

私は、いろいろな陸上大会に出ているが、出る前に思う事に3つがある。まず第一には、自己の記録にどれだけ挑戦できるか、第二番目に、自分の持っている力をどれだけ出しきって、悔いの残らない記録をたてることができるか。第三には、どれくらいの順位にいくことができるかである。

まだ大会に出てまもないころは、順位もあまり思わしくもなかったし、一年間に出るのが一回ぐらいしかなかったから、あまり気にしてはいなかった。でも人は変われば変わるもので、今では陸上の大会があると聞けば、「出たいなあ。」というそういう感じになる。

私は、走り高跳びに出ているが、あまり自分としての記録が満足ではない。学校で練習をする時はあまり思いきって跳べない。はりきって跳んでもそのあとが問題だ。着地する所に、スポンジをよせ集めなければいけない。それに比べて、幕別町の町営グラウンドでした時に、「わあーすごいマットがあるんだなあ」と驚いた。1回2回とバーに挑戦したが2回とも失敗してしまって、3回目に跳ぶときには、「神様お願いします。」とお祈りしてからするとあんがいできる。でもこんな事ではダメだ、ということがわかった。中とはんばではいけない。精神力をもっとつけなければと思う。

それから、大事な事を忘れていた。陸上競技に参加して得るものは、他の選手と友達になったり、みんなから学んだりすることがある。もしかすると私にとってこのことが一番大切な事ではないかと思う。

## 私と陸上競技

札内中学校 3年 池田 哲 幸

小学校4年生の時、あるきっかけから走ることを覚えた。けっして楽なことではないのだが、とにかく走った。その末、中学では陸上部に入部することになった。そこで出会ったのが、あの有名な横山先生である。俺に陸上競技のすばらしさ、そして、きびしさを教えてくれた。

どんな悪天候でも、先輩について走った。その結果、今の俺がいるのだ。今までに、数々の経験を多くのことを学んだ。

しかし、それは、陸上競技のほんの一部分にしかすぎないのだろう。でも、このほんの一部の学びでも、経験でも少しではあるが、俺自身成長してきたつもりだ。今は、3年生、現実に勉強という壁にぶつかった。1・2年生と陸上オンリーで生活してきた俺だが、この壁は、これからも陸上を続けるためにも、突破しなければならない。残り少ないシーズンを、中学校生活を精一杯ガンバっていきたい。

## テニスと私

札内中学校 3年 遠藤 美由紀

私は小学校のころからスポーツが好きで、特に、夏は水泳、冬はスケートと、一年中日やけ雪やけがとれることなく、毎日のように練習していました。氷点下25度をこえるあの寒い朝夕、手足の感覚がなくなるほどのつらい練習。もうやめたいと何度も思ったが、次の朝になると、そんな事は忘れ練習に出かけたものです。今思うとなにが魅力でつづけたのかわかりません。

中学に入って、先輩の勧めでテニス部に入部しました。入ってみると、まず初めにコート整備で、重たいローラーをひき、コートブラシを何度も何度もかけ、あとはランニングと素振り、球拾い、ただこれだけの練習が毎日つづきました。はやく上手になりたい一心で、一生懸命やるだけでした。こうして一年間ある程度基礎をつみ打ち合えるようになりました。ラケットの真心にあたった時のあの音と、重みのある手ごたえは口では言えないほど気持ちのよいものです。

2年生の時札内中学校に転校し、その一年間、テニスを通してとても大切なことを、たくさん学んだように思います。1年生の時から後衛の練習しかやっていない私が、試合の数日前に突然先輩からペアを組むことを頼まれ、前衛をやることになりました。転校してきたばかりで、まだよくわからない先輩たちの中にひとり入り、心細さと先輩の迷惑にならないよという心配でおどおどしているだけでした。しかもボレー、スマッシュもわからずに試合のコートに立った時には、ただ自分の球は責任をもって確実に返そうと思うだけでした。テニスに関してはとてもきびしい先輩でしたので、大きなミスをするとうなされたこともありました。そのたび先輩に申しわけない気持ちと、自分に対してのくやしさがいっぱいになり涙が出たこともありました。そのように先輩とペアを組み、なにもわからないまま、町内大会、東部大会、十勝大会と出てその一試合ごとに球を返すだけでなく、前衛の役

目であるボレー、スマッシュをきめることができるようになりました。そのため試合のつらさだけでなく楽しさもわかってきました。

今年2年生になり、今まで指導をうけていた立場から、今度はみんなをリードして行く立場となりました。力のない私ですがテニスを通じて結ばれた友達の協力もあり、大きな問題もなくまとまりのある部となりました。これも、私自身2年の時の体験があったからこそ後輩の気持ちがよくわかり、先輩としてどうしたらよいか、自分なりにわかったからだと思います。これからも、部活動を通じてできた親友を大切に、これからもテニスを通じて行きたいと思います。

## スポーツをとおして

幕別中学校 3年 伏見克代

人よりも、とにかく体を動かすことが好きで、汗を流したあとのさわやかさが好きな私……………  
そんな私が、初めて本格的なスポーツにふれたのが、小学校2年生の冬に知ったスケートです。あの頃のスケート仲間というと、ライバルというより、初めてスケートをはいた私にとっては、ひとつの大きな目標でした。そんな私が、よきライバルと対等に滑れるようになったのが、3年生の時でした。そして、初めてスケートでメダルというものをいただいたのもこの年でした。しかし、幼かった私にとって十勝のきびしい寒さの中での練習は幾度も私をいやがらせました。私は思います。スポーツのすばらしさとは、苦しい練習の後の勝利……………そして、また、勝つばかりがスポーツでもなく、負けた悔しさの中で次への執念を燃やす。これもスポーツではないでしょうか？ 私にとって、スポーツは、かけがいのないものです。

## スポーツから得たもの

幕別中学校 3年 村上智昭

各種のスポーツをやってきて、自分なりにプラスになったことがたくさんある。例えば、苦しみ、悲しみをのり越え、しだいに自分が向上していった事である。僕は、今まであらゆるスポーツをやって来て、このようなよい経験をした。これは、野球の試合の時だが、勝敗は別として他の学校の人と交流を交わすことができ、友達の輪が広がったことである。

スポーツをやってきて、このような経験をしたことを本当にうれしく思っている。また、驚くような経験をした。それは、あのつらいスケートのことだが、12月の半ばだったろうか。阿寒の合宿に行った。それは、高校生と同居の生活。練習時、食事の時の礼儀やマナーなど、とてもすばらしく、きちんとしている。練習の時にも、一つ一つを自分のものにしようと一生けん命やっている姿。

この、まじめさには、僕も驚かされた。ただ、体をつくるだけでなく、礼儀、マナーなどをしっかり



身につけることも大切だと、つくづく思った。このような経験や勉強ができて、本当にスポーツをやってきて、よかったと思う。

## ス ポ ー ツ と は

中 里 増 田 由 美 子

『スポーツ』、私達日常生活にいつとはなしに入ってきた言葉。あまりにも簡単に言ってしまうと、その価値感が薄れてしまうようで、かと言って深く考えようとすればその難しさに、音を上げてしまっている。それが私の正直な所です。これも、自分自身があまり得意としないものだからなのかもしれません。しかし、見る事、覚えること、動くことの過程を経て、ひとつのスポーツを行なうまで、そのものに費やしたものは、その人間の力と汗と数ページの人生なのかもしれません。TVの画面などから、良く選手の人達の生き生きとした瞳を見ます。

スポーツを職業とする者、日常の仕事から離れて楽しむ者、人それぞれですが体力と精神を、養うためにもやはり大事なものだと思います。たとえそれが、不得意で、あったとしても、体を動かして何か一生けんめいになる気持ちさえあればスポーツを得意と出来るのではないのでしょうか。一言にスポーツと言っても沢山のものがあります。職業としている者は別とし、仕事を離れてスポーツを楽しむ者にはある程度、選択の自由があるのですから日常生活の時間をうまく利用してスポーツを行なってみてはどうでしょう。

『人間にしか出来ない、人間だからこそ』スポーツを通じて何かを学んでみたいと、自分自身思うこの頃です。上手でなくても思いきりバレーボールを追ってみたいと思います。

## ス ポ ー ツ を 愛 そ う

相 川 松 田 一 隆

近頃では、色々なスポーツが私達の身近で見たり又、自分自身でやることの出きる施設が、沢山ある事は、とてもスポーツがどこでも盛んになって来たんだなと思います。僕もスポーツは、とても好きで、中学、高校そして今現在もバスケットボールをやっていますが、やはり自分自身が『無』になれる事が一番大切じゃないかなと思います。この事は、何のスポーツにしろ同じだと思います。『無』になると言う事は、とてもむずかしいけれど、なった時は、ほんとうに体のしんからしびれている様な感じがします。やはりこれがあるからやめられないのでしょうかね。

スポーツでも、個人競技と団体競技にわけられますが、やはり僕としては、個人競技よりも団体競技の方が好きです。それは、みんなの力がひとつになった時、はじめて勝利にもつながるものであり、また勝利につながらなくてもその時の感動は、一人一人の心にいつまでも残るものだと思います。有

名な言葉で「参加することに意義がある」とありますが、表面だけをとると、僕はこの言葉はきらいです。きらいと言うよりも、これと逆の信念があると言う事です。やはりやるからには、勝利をめざして努力しなければ。そしてこれが一人の努力でなくみんなの努力となり、ひとつになった時に、感動もまた倍になり、その時の感動が倍になれば倍になるほど、わすれられず、もう一度あじわいたくていつまでもスポーツを愛する様になるのでは、ないかなと思います。本当にスポーツとは心が動くものです。僕もいつまでもスポーツを愛します。

## 指導の難しさ、易しさ

札幌バレーボール少年団指導者 佐藤 清

少年団を指導し2年目になり、月日の経つのは早いものをつくづく思う今日である。

「今日はどんな指導をするか。」週2回の指導日に思うのは、今日の指導は、前回の復習であり次回への移行であると感じている。その中でいつも思うのは、ひとりひとりの個性である。よく見ると子どもたちは成長しているのであるということ、即ち、前回のそれと、今日のそれは異っているのである。前回の指導ぶりを反省しながら、子どもたちの表情を見守ります。いつも注視するのは、子ども達の眼力である。眼は私に語っている。無言ではあるが40余名のエネルギーが解ってくるというものである。バレーボールは文字通り、ボールに集中させることを主に指導するが、子ども達のボールにこもったエネルギーが、それを受け取る私に伝導された時、指導する者にとっての感激は格別な味がある。

練習が終り子ども達と反省をする時、一時、子どもたちは無言のまま、自己満足に酔っているかのようで、肩から息をはずませている姿には何物にも例えようのない、時には子どもたちに感謝したい気持ちが込み上げてくるものである。相互信頼の関係が、子どもと指導者の間に必要な要素の一つとして大切なことと思っている。単に指導というと、上達者が不得手な者に対する手ほどのように思われるが、もしそうであれば、指導される者(子ども達)にとっては後味の悪い、特には恐怖心が先に立ちコミュニケーションも出来ず、早く終らないかと時間の経過ばかり気にし、只、その場に参加したに過ぎなくなるのである。スポーツに欠かすことの出来ない相互信頼を、指導者ばかりではなく、子ども達同士間にも拡大していかなければと努力している。指導の難しさ、易しさは、指導の過程を多く踏めば踏むほ程、難しさが多くなり、自己研修の場が必要になる。試合に出場させ、勝敗に関係なく指導の難しさが山積し、脳裡をうめつくすものである。私は、指導の易しさ1%、難しさ99%の難問を絶えず身から放さず、常に取り組もうと心掛けている。又、難しさがそこにあるから指導していると自分に言い聞かせている。指導には易しさはない。難しさばかりである。

## 麦飯を食べて走った思い出

花 井 豊

戦後日本の荒廃した青年の心をツナギ止めたのは、運動即ちスポーツであると云っても過言ではない。必ず勝つと教えられ、思いこんでいた戦争が一方的に破れ、ともするとハレツしそうになる心身の置き処を彼等は、体を動かす事に心のより処を求めたのである。

いわゆる祭典相撲・陸上競技・スキー・野球と、現在のように種類は多くはなかったが、地域ぐるみで参加し、応援し、後援したものでした。私も中学校を卒業した翌年からスパイクを履く機会を与えられ、農作業を早めに切り上げて夕方から小学校グラウンドで暗くなるまで練習をし、各種大会を目ざした事が今更懐かしく思い出されます。何分その頃は食糧事情が悪く現今の様に栄養を充分にとる事も出来なく、麦飯を食べて頑張った訳で、魚屋の叔父さんが息子にうんと食べさせて、体力を付けさせ、こんどの大会にはいい成績を挙げてもらわにゃ、と天ぷらや魚等を安く持って来て下さったりして一寸いい気になっていたものでした。当時幕別町連合青年団に登録されていた団員数は約800人はいたと思います。特に陸上競技等では町内を3ブロックに分け、西幕別・中央幕別・南幕別とそれぞれの地区で予選大会を行い、選りすぐれた選手が全町の大会で覇を競ったわけで、それは賑やかなものでした。全町の青年が一堂に集るのは誠に壮観なもので熱気ムンムン、いやが上にも志気を盛り上げたものです。又、リング箱を三ツ重ねてにわか表彰台を作り勝者を讃える音楽を流し、選手諸君から一度あの台に上がり度いものだと云われたりして、裏方を務める者達もやり甲斐を感じた事なども思い出の一コマでもあります。

今までは、各種スポーツ活動も盛んになり後援会も出来たりして往時を考えると雲泥の差があり、本当に恵まれていると思います。このたび体連で記念誌を発刊されるとの事で大変御苦勞様です。私ごとき者にも拙文をと云う事で臆面もなく若かりし頃を思い出させて戴きました。

今後益々の御発展と愈々の御指導を併せお祈りして筆をおきます。

## 雑 感

松 田 千 歳

2年前、幕別町からスポーツ奨励賞を戴き、今年は体連20年記念誌に載せて戴く事になり大変うれしく思います。私がソフトボールを始めてから、高校時代は全国大会出場、昨年は国体3位入賞、良い事ばかり続き運がいいんだなあとつくづく思います。

1年の時、球ひろいで全国大会に行った時(これが私の運のつき始めかもしれません)、群馬県の一般男子のピッチャーを見て大変驚きました。スピードはもとより、カーブ、シュート、ライズなどの変化球もなげていました。今でもソフトボールでは変化球を投げる人は少ないのです。女子では全国でも日体大のピッチャーぐらいです。今、十勝の一般男子では芽室クラブ、池田クラブが活躍しています。全国大会にも出場しています。芽室クラブの大半は農家の青年とききます。

幕別でもクラブチームを作り全国大会に出場できるようになってほしいと思います。